

# 立川総合病院外来・OP・検査など病棟以外の紹介

	東館A棟	東館B棟	南館
8階	<b>診療情報管理室</b> 診療情報管理師3名 (院内がん登録初級者研修修了者1名) パート1名		
5階	病棟	病棟	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>不妊センター</b> </div> 不妊対外受精センター 採卵術総数 195件 (25年度)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <b>外来化学療法室&lt;6床&gt;</b> </div> 25年度 2,082件  消化器内科・外科、呼吸器内科、泌尿器科、婦人科等の抗がん剤治療を安心して受けていただける専門ルーム  <言語療法室> 語聴覚士2名配置
4階	病棟	病棟	<b>&lt;外来&gt;産婦人科外来</b> 産科：切迫流産の治療、妊婦検診バースプラン・立会い出産、マタニティヨガ等、家族・本人共に満足できる分娩を目指す 指導：セルフマンママッサージ、分娩教育、育児指導、母親学級(前期・後期)、両親学級、母乳指導、栄養指導、退院後のおっぱい相談、退院後の電話相談  <b>&lt;講義室&gt; &lt;会議室&gt; &lt;心臓リハビリテーションルーム&gt;</b>  <b>&lt;図書室&gt;</b> 司書1名常駐 専門誌・雑誌の他、医中誌 Web メディカルオンライン等のネット検索可能
3階	<b>手術室&lt;8室&gt;日勤および夜間拘束制</b> 25年度 総件数; 3,527件 (全麻 1837件)  心臓血管外科 522例 (『心臓手術』+胸部大動脈手術の件数 282件、冠動脈バイパス術 87件、弁置換・弁形成術 174件、胸部大動脈手術 65件、メイズ手術 36件、腹部大動脈瘤 58件等)  消化器外科 690件、整形外科 623件 など。夜間休日でも必要であれば24時間いつでも緊急手術・高度医療に対応できる体制を整備  県内でも最大数を誇る心臓血管外科手術症例数です。 <b>手術室看護マスターコースあり</b>		<中央材料室>  医局  医療連携室  医療秘書室
2階	<b>&lt;外来部門&gt;</b> 外来患者平均 900~1000/日 *救急搬送・かかりつけ患者・紹介患者を断らず一人でも多くの究明を達成するために積極的に地域に貢献を目指す 消化器内科・外科・内分泌内科 ( <b>糖尿病療養指導士1名</b> )・腎臓内科・移植外科・呼吸器内科・神経内科・泌尿器科・整形外科・形成外科・耳鼻咽喉科・眼科 皮膚科、ストレス外来・歯科口腔外科  <b>&lt;内視鏡室(内視鏡検査技師5名配置)&gt;</b> 25年度総件数 7,658件 上部消化管を内視鏡室(2床)、下部消化管を透視室(1床)で実施(2005年9月からESD対応)拡大内視鏡認設備あり、 <b>&lt;アンギオ室&gt;</b> 3室(2階に2室、1階部分に1室) 循環器内科 1,637件、脳外科 249件など 等) 24時間 365日緊急カテーテル、緊急PTR(血栓溶解術)に対応可能(患者到着から穿刺まで15分~20分) <b>&lt;血液浄化室&gt;</b> 6床(入院患者の透析に対応)系列の中越腎センター(54床)と連携 <b>&lt;腹部エコー室&gt;</b>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <b>循環器脳血管センター</b>  <b>(循環器内科・心臓血管外科・脳外科・・・外来患者平均 250人/日)</b> </div>
1階	<b>&lt;総合受付&gt; &lt;新患受付&gt; &lt;会計&gt; &lt;入院窓口&gt; &lt;患者相談窓口&gt;</b>  <b>&lt;救急外来&gt;</b> 2交替制 24時間体制(看護師22名 うちICLSインストラクター修了者4名) 25年度救急受診患者数: 11,598名 救急搬送患者数: 3,716名 <b>&lt;薬剤部&gt;</b> 薬剤師20名(認定実務実習指導薬剤師3名 研修認定薬剤師5名 糖尿病療養指導士2名 NST専門療法士1名) 薬剤助手2名 抗がん剤調整クリーンルームあり 24時間体制勤務 薬学部学生実習受け入れ  各病棟や外来等の担当が決められており患者服薬指導や薬物治療情報提供、服薬安全管理、各科医師看護師への薬剤情報提供  <b>&lt;栄養科&gt;</b> 栄養科事務室、栄養相談室、厨房 スタッフ27名(管理栄養士6名 NST専門療法士1名・栄養サポートチーム専従)		<b>&lt;外来&gt;小児科</b>  <b>&lt;医療相談室&gt;</b> MSW3名、PSW1名  ケアマネ2名  <b>&lt;CE室&gt;</b> 6名(機器管理、手術検査等)
地下	64列マルチスライスCT・16列マルチスライスCT・MRI2台(1.5テスラ)・放射線治療室* <b>放射線看護過程研修修了者2名</b> 配置  <b>&lt;剖検室&gt;</b> *病理検査室は(別棟)病理医4名(常勤2名・非常勤2名)にあり <b>&lt;施設課&gt;</b> 24時間施設管理		更衣室 シャワー室  仮眠室7室・家族待機室(別棟)

# 立川総合病院 病棟の紹介

**固定チームナースング 一般病床は7:1 看護体制 3交替・2交替・夜勤専従が選択できます。3人以上の複数夜勤**

パート等は、各自のワークライフバランスに応じて曜日や時間、配置場所等の選定ができます。

平均在院日数：13～14日 平均稼働率 80%

	東館A棟	東館B棟
7階	<p><b>7A病棟 &lt;47床&gt;</b> 消化器外科 ＊下記の外科系看護を中心に実施</p> <p>胃がん、大腸がん、乳がん、胆石、胆嚢疾患、肝臓がん、ソ径ヘルニア、痔などがん疾患の看護、ターミナル期の看護、消化器炎症疾、下血吐血</p> <p>検査および治療等（手術療法、内視鏡、EMR、ESD、ERCP、化学療法、放射線治療など）の看護、（7Bのみ・腎不全看護、白血病疑いの検査、抗がん剤治療、血小板減少症の輸血等）</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>            ①受け持ち看護師が中心となり、安全・安楽な入院生活が送れるよう支援する。            ②他職種と協働し、早期退院の不安が解消されるよう、指導・援助を行う。  <b>* 特徴</b>            消化器外科手術術期の看護が中心、手術直後の人工呼吸器管理～循環動態の管理、スチーム管理、乳がん患者看護、人工肛門や乳房切除後のポテイメージが変化した患者へのセルフケア指導 等が学べる。            皮膚・排泄ケア認定看護師をとの連携やNSTチームとの連携等を通してチーム医療を推進している。</p>	<p><b>7B病棟 &lt;59床&gt;</b> 消化器内科・腎臓内科・血液内科 ＊下記の看護の内科系看護を中心に実施</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>            ①ターミナル期患者に対して、緩和ケアが十分に出来るよう医療スタッフと共に、看護・介護援助を行う。            ②ケアが見える看護計画と記録のあり方に、記録委員を中心に進める。  <b>* 特徴</b>            がん緩和ケアを得意とする。医師・薬剤師・看護師・心理療法士等とのチーム医療を推進している。院内の他のがん治療を行う診療科や長岡地区の他病院と連携し、患者の体と心の痛みを和らげ、生活やその人らしさを大切にする医療看護の推進ができるよう努めている。</p>
6階	<p><b>6A病棟 &lt;47床&gt;</b> 呼吸器内科・眼科・耳鼻科</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>            ①患者家族が安心して過ごせる環境づくり。            ②患者の安全・安楽を第一に考え、事故を起こさない。            ③褥瘡予防を実践し、院内発生を0にする。  <b>* 特徴</b>            睡眠時無呼吸症候群診断のための睡眠検査室あり            呼吸器内科・耳鼻科ではがん患者の看護（化学療法・放射線科療法・緩和ケア）            眼科・耳鼻科では手術を受ける患者の看護            呼吸器ケア・リハビリテーション学会にて毎年発表</p>	<p><b>6B病棟 &lt;41床&gt;</b> 産婦人科 分娩件数年間約 517 件(約 43 件/月)</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>            すばらしい出産・育児体験をしていただくための周産期ケア(バースプラン 立会い・フリースタイル出産 乳房ケア等)、GCU(35w～低出生体重児・病児)の看護、思春期教育、癌緩和ケアなど  <b>【ママとベビー】</b>            一人ひとりに優しいケアを目指し、安全性はもちろんのこと 個別対応を心がけ、丁寧できめ細やかなケアを提供するよう努める・母乳育児支援により母親が自立でき、母乳育児を実践できるよう指導し、そのための情報提供をする・外来・病棟・地域と情報交換し継続的に適切な援助ができるように努力している・バースプラン・立会い出産を通して、家族・本人ともに満足できる分娩をめざしている。</p>
5階	<p><b>5A病棟 &lt;45床&gt;</b> 循環器内科・内分泌内科</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>            ①「今、何が必要とされているか考えられる看護」を目指す            継続看護の充実、専門職としての自覚を持つ高齢者でかつ心疾患のある患者に対する援助を、チームカンファレンスを行いながら計画的に進めている。            ②高齢者に対する安全・安楽な療養生活、患者に合わせた生活支援について取り組む。            ③お互いに学びあい、急変時対応ができる。  <b>* 特徴</b>            病院の中でも高齢な患者が一番多く入院している。高齢者の対応を踏まえた看護が必要。            循環器病棟の特徴を活かして「救急シミュレーショントレーニング」が充実</p>	<p><b>5B病棟 &lt;57床&gt;</b> 脳神経外科・脳神経内科（患者の社会復帰を目指し先進的なチーム医療を実践）</p> <p>5人夜勤体制 看護助手・介護福祉士合わせて8名配置</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>            ①継続看護の充実、専門職としての自覚を持つ            ②知識の向上を図り、お互いが教育者である自覚を持つ  <b>* 特徴</b>            ・脳疾患を予防するための手術(ステント留置術、コイル塞栓術)を、積極的に行っている。            ・突然発症し、脳神経障害により後遺症を残したまま自宅へ帰る方、リハビリを継続するため施設へ転院する方が主であり、日常生活全般にわたり援助が必要である。            ・リハビリスタッフ・栄養士・医療相談員や地域のケアマネと関わる機会が多く、患者・家族が求めている日常生活のゴールを一緒に考えている。            ・日本脳外科学会発表も毎年取り組む。</p>

	東館A棟	東館B棟
4階	<p><b>4A病棟 &lt;40床&gt;</b> 循環器内科 <b>CCU6床併設</b></p> <p>心筋梗塞、狭心症、心不全、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、高血圧、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、その他高血圧症、失神、急性期（主にCCU）・回復期・慢性期の看護が特徴。病院全員の看護師を対象に循環器ケアセミナーを企画実施、</p> <p><b>CCU 看護マスターコースあり</b></p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>  <b>①安全・安楽な入院生活が送れるように、チーム全体で安心かつ迅速な看護が提供できる。</b>  <b>②適切な接遇と職員同士協力した看護を提供する。</b>  <b>* 特徴</b>  <b>全員が勉強会の担当し、病棟で勉強会を開催し新人看護師に、疾患や検査やME機器について学んでいる。患者に合った退院指導を早めに計画し、自宅退院での生活が安心につながるようにつなげる。</b>  <b>急性心筋梗塞など、突然発症する危機的な疾患の特徴を踏まえて、家族も含んだ超急性期の看護を実践する。</b></p>	<p><b>4B病棟 &lt;48床&gt;</b> 心臓血管外科・腎臓外科</p> <p>弁膜症、狭心症、心筋梗塞、先天性心疾患、解離性大動脈、胸部大動脈、腹部大動脈、閉塞性動脈硬化症、肺癌、バリエーション等の手術前後の看護、腎移植看護</p> <p><b>ICU&lt;7床&gt;(2:1看護)</b> 心臓や大血管手術、腎移植、肺癌手術後の超急性期看護</p> <p>安全な医療の提供にむけて感染防止、チーム医療の推進、研修会参加等に積極的。心臓血管外科看護教育プログラム</p> <p><b>ICU 看護マスターコースあり</b></p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>  <b>①看護の質の向上を図り、患者・家族に安全でより良い看護を提供する</b>  <b>②業務改善をし、働きやすい環境作りをする</b>  <b>* 特徴</b>  <b>・急性期で、患者にとって何が大切なことか、急性期の患者の不安や悩みに 看護ができることは何か、急性期における患者に安全に医療・看護を提供できる ことの重要性を学んで欲しい。</b>  <b>・超急性期～回復期までの患者の看護において、チーム医療を推進し最善のパフォーマンスを提供する。</b>  <b>・関係職員、スタッフがこの病院で働いてよかったと誇りを持って思える職場にする。</b></p>

	南館
7階	<p><b>7S病棟 &lt;42床&gt;</b> 小児科・泌尿器科・形成外科・皮膚科・歯科</p> <p>◇主な疾患 小児科 ; 気管支炎, 肺炎, 喘息, 胃腸炎, 川崎病</p> <p>泌尿器科 ; 膀胱腫瘍, 前立腺がん, 腎腫瘍, 尿路感染症, 前立腺肥大症</p> <p>皮膚科 ; 帯状疱疹, 熱傷, 皮膚潰瘍, 蜂窩織炎</p> <p>形成外科 ; 熱傷, 母斑, 外傷</p> <p>歯科 ; 蜂窩織炎, 下顎骨折, 口腔内腫瘍</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>  <b>①看護師としての役割・責任を果たす</b>  <b>②同僚・患者さんとのコミュニケーションを大切にす</b>  <b>* 特徴</b>  <b>・小児のフレパレーションなど小児看護の充実に積極的な取り組みを実施</b>  <b>小児に対するフレパレーション・インフォームドコンセント</b>  <b>カンファレンスでの看護の方向性の統一</b>  <b>・泌尿器科看護</b>  <b>高齢者が多いため、退院調整の充実が鍵になる。また、がん患者も多いため、苦痛軽減のための気づきと配慮が必要。</b></p>
6階	<p><b>6S病棟&lt;42床&gt;</b> 整形外科</p> <p>頸・脊髄損傷、大腿骨頸部骨折、上下肢骨折、変形性股関節症</p> <p>変形性膝関節症、小児先天性疾患、関節拘縮・変形など</p> <p><b>* 病棟大切にしていること・目標等</b>  <b>①安全・安楽な入院生活が会話を大切にす看護を行う</b>  <b>②地域と連携し、退院後の生活への不安へ対応をする</b>  <b>* 特徴</b>  <b>急性期～亜急性期・回復期の看護等、患者の社会復帰に向けチーム医療(地域医療連携パス等)に積極的に推進。</b>  <b>・医師・理学療法士・ソーシャルワーカーとの協働</b>  <b>・患者の回復意欲を維持するための動機付け</b>  <b>・運動能力の査定</b>  <b>・患者に合わせADL拡大計画</b></p>

**58床** 2交代で昼夜透析を行っており曜日によって1日70~105名の患者を受け入れている

**中越診療所  
(腎センター)**

\*大切にしていること: QOL を確保し安全安楽に患者が継続して透析を受けていただけるように、一人ひとりの患者に向き合い寄り添う看護を提供する。専門性の高い分野で、自己研鑽に努めている(院内学習会 1~2回/月、透析懇話会や日本透析学会などに参加し発表をするなど)

## 悠遊健康村病院

当院の特徴は、亜急性期から慢性期の患者さんを対象に医療サービスの提供、回復期リハビリテーション病棟を中心としたリハビリ治療、終末期の治療と看護、高齢者に対する在宅支援、地域生活支援などがあります。そのために、私たち看護師は、患者から学ぶ姿勢を忘れず、患者さん・ご家族の方に対して、日常生活の中でリハビリ看護を提供し、在宅復帰を目指して、いつでも笑顔で優しい看護、正確な技術の提供による安全な看護、職員お互いが人格を尊重し連携し合う職場づくりやチーム医療の推進に努力しています。

最先端の医療について学ぶチャンスは少なくなりますが、代わりに一般病棟では学べない看護の全体像について知り、ここで仕事をしているからこそ身に付けられる知識・技術があり、経験を重ねながら成長できます。ここでは、医療よりも「看護・介護」が中心で、特に必要なことは観察力・判断力です。学生時代にその患者とじっくりかかわりたいと思った方も多いと思います。24時間365日そばにいる私たち看護師が主体となって専門性を発揮し多職種を巻き込んで、在宅復帰のための生活支援に取り組むプロセスを、直接見て体験して感じてみませんか？

<理念>私たちは、患者さん一人ひとりの尊厳を守り、セルフケア能力を高められるよう看護を提供します

### <各病棟・施設の概要>

病院 300床（一般病棟151床、療養型病床149床）

#### 東2病棟（49床）医療療養病棟

急性期医療は終了したが、まだ医療提供の必要度が高いために自宅療養への不安がある患者に、安心して医療が受けられる療養環境を提供することに努めています。自宅への退院に向けて、ひとり一人の症状や状況に合わせて、医療と看護と介護ケアを提供するため、さまざまな疾患や状況の違う患者がいますが、症状が安定している方が多いので、じっくりと関われ、看護技術をゆっくりじっくり学ぶことができます。

#### 東3病棟（50床）回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患患者の集中的リハビリテーションを行い、在宅復帰されるまでを支援します。看護師に「やってみたい」と大変人気のある病棟です。

その理由は、リハビリと看護師が中心となって日常生活の中で80%以上の在宅復帰に関われることです。まったく歩けなかった患者が「歩いてありがとう」と言って社会復帰される姿を見ると達成感があり、常に多職種チームで一丸となって達成するため、連帯感もあり一人で何倍も喜びがあります。患者の年齢も30～高齢者、疾患も幅広く。疾患の勉強、患者と家族指導や支援など多岐にわたる学びが得られます。

#### 西3病棟（50床）回復期リハビリテーション病棟

東3病棟とともに、看護師の人気の高い病棟です。脳血管疾患や大腿骨・脊椎・関節などの骨折、または肺炎などの治療中に生じた安静によって体力が低下した患者さんに対して多くの医療専門職がチームとなって集中的にリハビリテーションを行います。在宅復帰に向けて、さまざまな職種の支援を受け、私たち看護師は24時間365日そばにいて、その患者に合わせて日常生活を支援し、回復した状態で自宅や社会に戻っていただけるように努力しています。患者が退院する姿を見ると本当にやりがいがあります。

#### 西4病棟（50床）障害者施設病棟

神経難病や重度の肢体不自由の患者が多く、医療提供の必要度が高い方が多く入院されています。

リハビリ看護や人工呼吸器装着中の看護など、多くの看護技術を体験し知識技術を高めることができます。また、病状の進行により重症化する例も多く、日々の観察力・判断力が求められ、家族支援も重要と考え実施しています。若い看護師が多く、明るく笑顔の対応と安全・安楽な看護の提供を心がけています。

#### 東4病棟（50床）介護療養病棟

急性期を脱し、状態は安定しているが、在宅生活への不安や、介護力の問題をかかえながら、生活の場所が決定されるまで入院している患者が多くいます。高齢者が多いため、急変や状態悪化と隣り合わせで、変化の少ない日々の中でも常に細かな目配り、気配りが看護師には要求されます。

ここの患者のペースに合わせた生活が送れるように、日常生活支援だけでなく、季節ごとのイベントや病棟レクリエーションなどを行っています。私たちも、患者が心から笑顔で生活できることを目指して一生懸命頑張っています。

この患者さんの笑顔が私たちのモチベーションです。

悠遊苑（介護老人保健施設 入所 150床、通所 40名）

晴遊庵（グループホーム 1棟9名）

#### 西5病棟（51床）一般病棟

整形外科・神経内科・内科・脳外科

整形外科の主に骨折等の手術患者が入院します。手術前・後の看護や、神経内科・内科・脳外科などのさまざまな疾患の看護も体験できます。患者は在宅復帰される方、療養病棟に転棟して治療を継続される方がいます。

経験の浅い看護師が、基本的な技術を身につけることができる病棟です。

若い看護師も多いので、とても明るく、先輩看護師の支援もじっくり受けながら成長することができます。

## 柏崎厚生病院

### 地域に根差した精神科の専門性の高い病院です。

精神科看護は難しい！技術が学べない！そんな思いを持つ方もいらっしゃると思いますが、精神科病院ではここだから学べる『看護』があります。メンタル支援はどんな看護の領域でも求められる「力」です。身体的・精神的・心理的アセスメントを組み合わせながら患者を観察し全体像を理解する。精神科における観察は患者理解の基本だとも言われます。社会復帰に向けた治療プロセスに、患者一人ひとりと向き合い、寄り添い、受容と共感的態度（相手の心にきちんと目を向けて言葉にならないことに耳を傾ける）で、心の交流を中心にじっくり関わるケアが多くなります。答えが一つではなく難しいからこそ多職種チームで支えあい、関わり、患者や家族も含めて地域ともに問題解決に取り組み、みんなで考え取り組みます。少しずつ心を開いてくれる患者のケアにやりがいを深く感じ、「看護をしている」実感が持てます。患者との関係性を通じて自分も学び成長するのが精神科看護の醍醐味です。対人関係能力や問題解決能力、意思決定、コミュニケーション力などの『人間力』が学べるそんな場所です。専門性の高い精神科領域の研修会や多職種とのカンファレンス、事例検討などが盛んです。さまざまな処置や治療の知識・技術は、急性期ほど多くありませんがゆっくりじっくり指導を受けながら身に着けることができます。スタッフは精神科経験が長いベテランナースが多いので、優しく包容力のある指導者です。とにかく、仕事は、概ね定時に終わります。また、家庭を持って長く働き続けられる病院でもあります。一人ひとりの患者とかかわる時間が多く、バタバタしない、ゆっくりじっくり患者や疾患がわかってくるので、じっくり学びたい方は、ぜひ体験してください。すでに精神科看護を極めたい！と考える方は精神科の認定を目指してみませんか？

<看護部の理念> 私たちは、患者さん利用者さんが療養の場、あるいは、地域社会において障害を抱えながらそれを調整しつつその人なりの生活を営んでいけるよう知識と技術を提供します。

#### <各病棟、施設の概要>

##### B-1（精神科療養病棟）46床 閉鎖病棟

\* 長期間の入院患者が多く、入退院が少ないため、一人の患者と長期にじっくりかかわることでやりがいが持てます。関わりを通して患者を理解し、特徴をつかむことで相互理解ができ信頼関係が得られます。精神科看護は患者との対人関係の上に成り立つ援助行為であり、看護師が患者との関係性を築き発展させるプロセスの中で役割モデルを効果的に示すことが直接的な治療に結びつきます。患者を理解することからすべてが始まります。

幻覚や妄想による不安・恐怖など、精神的危機状況にある患者の危機回避が重要で安全安心な療養生活の確保に努めています。

鍵がかかる病棟ですので、患者の代弁者として患者の安全や倫理的問題に配慮し行動制限を最小限にする努力が求められます。

##### B-2（精神科療養病棟）60床 開放病棟

\* 当病院の中で新人看護師からもっとも「働きたい」と声があがる病棟です。社

##### C-1（認知症治療病棟）50床 歩行可能

\* 認知症患者は理解できない行動もしますが、なぜそのような言動なのか、疾患の理解を深め、その言動に意味を見出すことができれば大丈夫です。痛いのに痛いと感じなかつたり言えなかつたりしますが、そんな時患者の変化に気づけるかどうかは看護の観察力とアセスメント力にかかっています。看護師の判断も多くなり責任もありますが、一人ひとりの患者と向き合うやりがいもあるという言葉をよく聞きます。悩むことも多いですが、患者の理解は多職種カンファレンスでより深まります。情報を共有し、患者の問題点・ケアの方向性を確認しながらチーム医療を積極的に推進しています。

ここでの経験や学びは、高齢化社会の中で今後ずっと必ず役に立つ自分の武器になります。

##### C-2（認知症治療病棟）50床 寝たきり・車いす

\* 内科的な処置、看護が実践できるため、じっくり指導を受けながら身に着けら

<p>会復帰、退院促進に向けて同伴外出(社会資源見学など)したりなど、SST(日常生活技能訓練)にかかわり、地域社会や多職種とともに退院支援・調整に関わられます。このプロセスに関わり、暖かく見守り、じっと待つことも含めて、多くの看護師がやりがいを感じることができます。</p>	<p>れます。寝たきりや車いす介助の患者が多いため、私たち看護師の気づきや手当が患者に与える影響は大きいです。多職種と協力しながら患者の安全安楽に目配り気配り心配り、そして手をかけるようにしています。</p>
<p><b>Q (精神科急性期治療病棟) 34 床</b></p> <p>* 救急の激しい精神症状で入院します。入院期間 3 か月以内の社会復帰を目指します。当病院は輪番制で救急当番を昼 2 ~ 4 回/月、夜 2 回/月担当しています。興奮状態で入院する患者が、多職種チームからのさまざまな治療と看護、支援を受けることで、次第に危機状態から脱し、自分らしさを取り戻し、社会復帰の準備の支援を受けて、よくなっていくプロセスに関わります。患者が笑顔で社会復帰される姿を見ると本当に心が癒されます。</p>	<p><b>C-3 (内科病棟) 60 床 寝たきりの患者や看取りの看護</b></p> <p>* 施設入所の方が入院が必要になったときや、精神科疾患を抱えて内科的治療を受ける患者が入院します。認知症のある高齢者に対する侵襲のある内科的治療は、患者の理解や協力が困難なため難しいこともあります。感染管理の課題もあり、関連病院の感染管理認定看護師が最も多く関わる病棟でもあります。先輩のアドバイスを受けながら少しずつ段階的に知識技術を習得し成長できます。DNR 患者の対応や看取りの看護は、倫理的な問題も含めて、難しい対応が求められます。家族もチームの一員として加わってもらいその人らしい最後を迎えられるように、一人ひとりと向き合います。答えがないので迷うことばかりですが、皆で知恵を絞って力を合わせて取り組んでいます。</p>

よねやま訪問看護ステーション

柏崎市東地域包括支援センター

米山爽風苑(入所)介護老人保健施設 150 床

米山爽風苑(通所)リハビリ 60 名

米山五楽庵(認知症高齢者グループホーム) 2 棟 18 名